

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課

観光経済 部 藤原観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市高德中岩河川公園				
	所在地	日光市高德397番地2先				
指定管理者	名称	クロスプロジェクトグループ・東武鉄道共同事業体				
	代表者名	株式会社クロスプロジェクトグループ 代表取締役兼グループCEO 辻 隆				
	住所	長野県北安曇郡白馬村北城2937番地767				
指定期間		令和6年4月1日                      ～                      令和11年3月31日			5                      年間	
選定方法		非公募		評価実施年	5   年間のうち                      1   年目	
施設設置目的		市民の余暇活動の向上と観光事業の推進を図ることを目的とする。				
主な実施事業		・河川公園の運営に関する業務 ・河川公園の施設、付帯設備等の維持管理に関する業務 ・河川公園の制限行為許可に関する業務				

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	コスト削減	%	95	95								
b												
c												
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収入計 A		14,250,360	0	0	0	0
	指定管理料	1,500,000				
	利用料収入 C					
	自主事業収入	12,750,360				
	その他					
支出計 B		16,806,844	0	0	0	0
	指定事業費	2,875,029				
	内人件費 D	433,260				
	内外部委託費 E	843,040				
	自主事業費	13,931,815				
事業収支 A-B		-2,556,484	0	0	0	0
人件費率 D/B		2.58%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		5.02%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	・市納付金及び行政財産使用料は含まれておりません

サービス改善の状況

- ・公園に管理者が常駐することにより、公園の安全性の向上、美化の向上に努めることができました。
- ・日々、散歩で訪れる地域住民の皆様とのコミュニケーションを通して、地域に愛される施設を構築している段階です。
- ・遠方から訪れるお客様に対して、公園がベースとなり、日光の魅力発信の場としての機能を目指しているところです。

## 5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	C	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
② サービスの 質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接客が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
③ 安定性	広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
	利用状況	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	総括	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	C	B
		利用実績は、目標水準である。	B	B
		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
④ 経費の 状況	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		・R6年度は立上げにつき、スタッフの人員不足など、至らない点も多くありました。R7年度以降、公園の質の向上に努めて参ります。		
		・スタッフの人員不足により、草の生い茂る時期に除草が追いつかない状況が発生しました。次年度は改善して参ります。		
		・公園の維持管理で精いっぱい的一年でした。次年度は、地域住民の方との連携を強化して参ります。		
		(所管課評価)		
		指定管理制度導入初年度であり、様々な案件に対して手探りだったが、当施設の適正管理運営に尽力した。		
		人員不足の面も指定管理者が自ら考えて行動した結果、一定の効果を得られたので今後一層の改善策を期待する。		
		自主事業についても、当公園の設置目的である「市民の余暇活動の向上と観光事業の推進を図ること」を念頭に一層の努力を期待する。		
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。